

顧客接点やストック改修など、今変革が求められる領域のリーダーが、判断経験が積み重なる仕事と動機を意図的に設計し、実践と振り返りを通じてメンバーの判断力を育てる

判断経験設計プロジェクトベースドラールニング

AI時代に企業競争力を左右する「判断できる人材」

- AIが代替する仕事：知識・手順・前例は、いずれもAIが担える
 - AI時代に残る仕事：優先順位判断・リスク判断・価値判断・意思決定＝判断
- ➔ AIは知識仕事を代替します。**企業で働く人に残る仕事は「判断」です。**

企業の82%で判断経験が減少（33.8万人・980社の分析）

判断経験が「減る」仕事構造

- ステップ①. 業務標準化・マニュアル化・IT化・働き方改革
- ステップ②. 仕事の進め方が固定化・前例適用の仕事が増加
- ステップ③. 判断経験が減少

しかし判断は教えられない

判断とは、「何を優先するか？」「どのリスクを取るか？」「どの価値を選ぶか？」を状況ごとに決める行為 ➔ 唯一の正解がない

判断力は経験で育つ：適切な経験負荷→振り返り→修正→判断精度向上

必要なのは各職務の判断経験の設計

- 効率化が進んだ職場では、判断できる人は自然には育たない ➔ アンラーニング
- 判断経験が生まれる適切な負荷がかかる仕事と動機の設計が必要 ➔ リラーニング

AIは知識仕事を代替します。企業に残る仕事は判断

AIは知識仕事を代替します。企業に残る仕事は判断です。しかし効率化が進んだことで、企業の82%で判断経験が減っています。判断は教えることができません。経験の積み重ねで育つ能力です。そのために必要なのが判断経験の設計です。特に重要なのは、「**判断が必要な仕事・継続できる動機を設計する**」ことです。それを実務プロジェクトで行います。



33.8万人のデータに基づく

組織で働く成人の研究と教育開発

組織行動科学[®]
Organizational-Andragogy[®]

お問い合わせ： 判断デザインラボラトリー

E-mail: request@requestgroup.jp

【会社情報】 リクエスト株式会社

- ・ 本社：〒160-0022 東京都新宿区新宿3丁目4番8号 京王フレンテ新宿3丁目4F
- ・ 会社概要： <https://requestgroup.jp/corporateprofile>
- ・ 代表取締役 甲畑智康： <https://requestgroup.jp/profile>
- ・ 公式サイト： <https://www.requestgroup.jp/>

【企業概要】

[リクエスト株式会社](#)（本社：東京都新宿区、代表取締役：[甲畑智康](#)）は「より善くを目的に」を掲げ、980社・33.8万人の働く人達のデータに基づいた [組織行動科学[®]](#) を基盤に、8つの研究機関からなる企業です。

[組織行動科学[®]](#)は組織で働く私達の思考と行動が「なぜ起こり・なぜ続くのか」を事業環境と歴史・経験から解明し、より善く再現する手段です。

[Behavioral Robotics[®]](#) (HOBiROA[®]) 総研

smart creative management[®] 総合研究所

[OrgLogLab[®]](#) (組織論理学[®] 研究センター)

XR HRD[®] (AIAndragogy[®]) 研究センター

ABA Operations Research[®] センター

人的資本開発プランニング[®] センター

[判断デザイン](#) ラボラトリー

[公共行動研究室[®]](#)